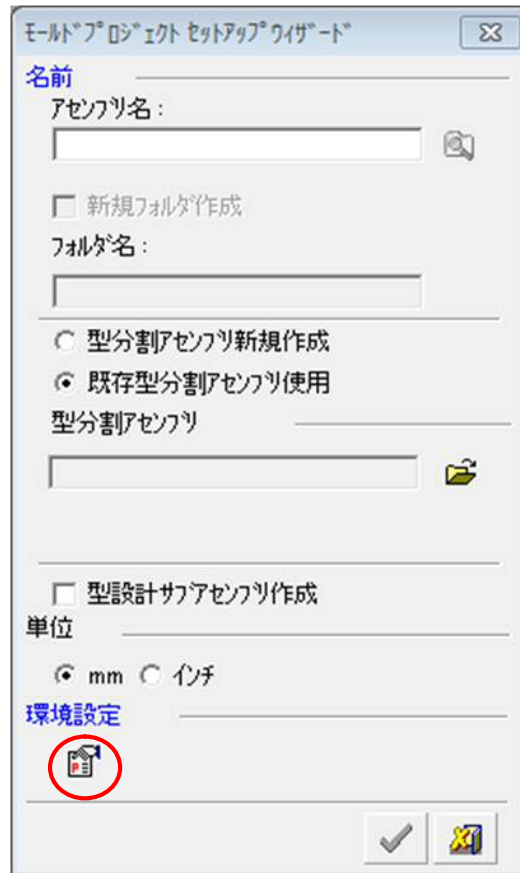
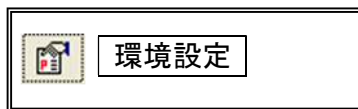
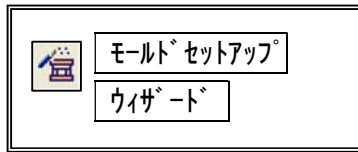
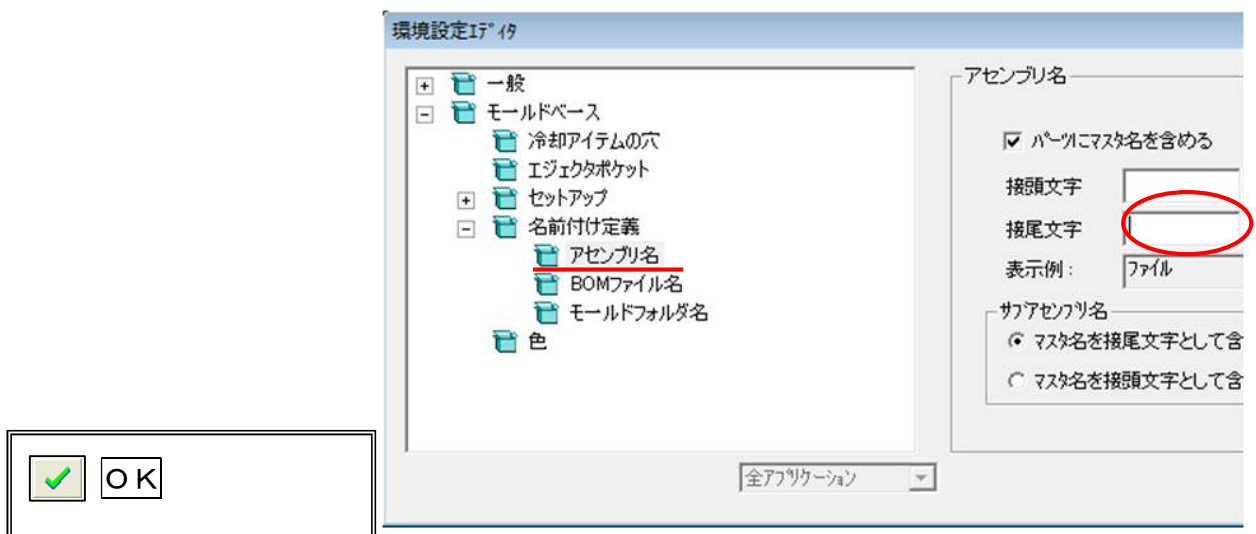


## 1. モールドセットアップの実行

モールドセットアップウィザードを起動します。



作成されるアセンブリ名の接尾文字を設定できます。  
今回は無しにします。

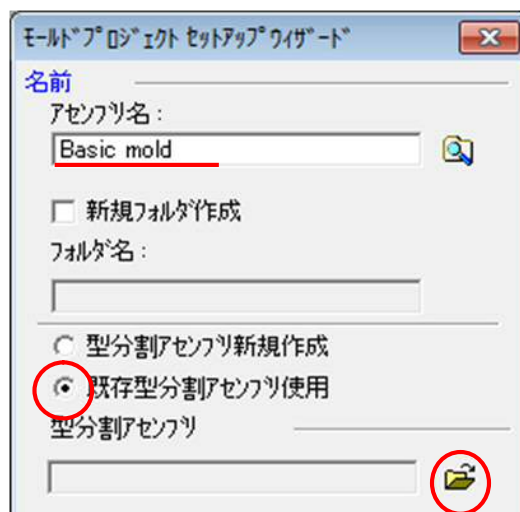


アセンブリ名 : Basic mold

既存型分割アセンブリ使用  
: チェック

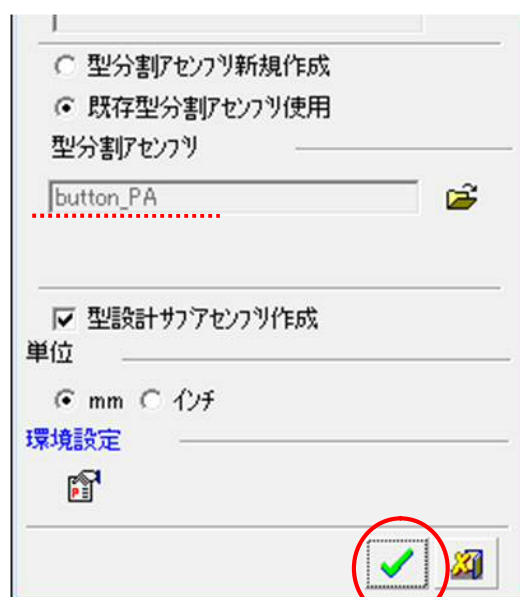
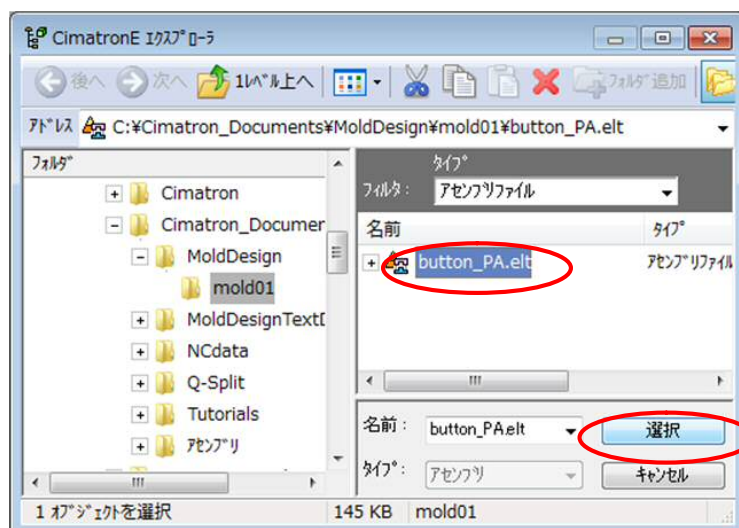


型分割サブアセンブリ指定



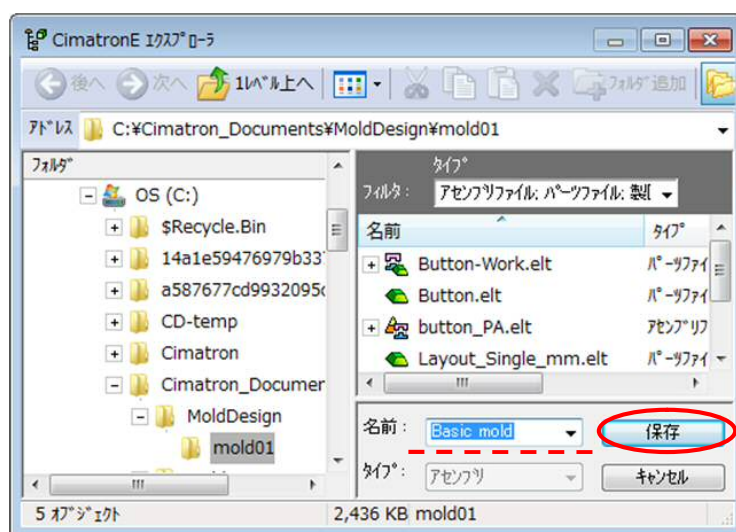
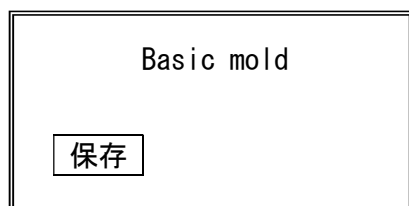
button\_PA. elt

選択

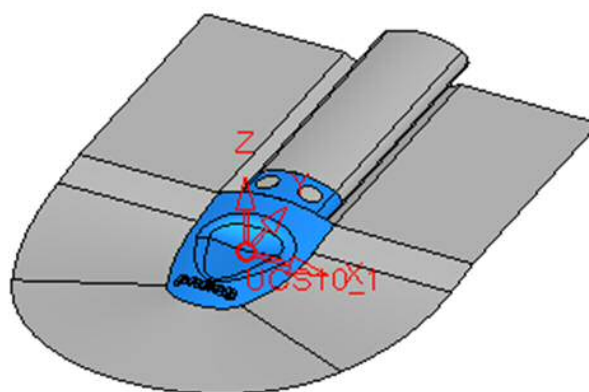


OK

アセンブリファイル名を確認し保存します。

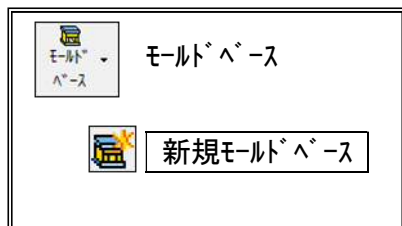


設計用のアセンブリファイルが作成され、指定した型分割アセンブリが追加されています。

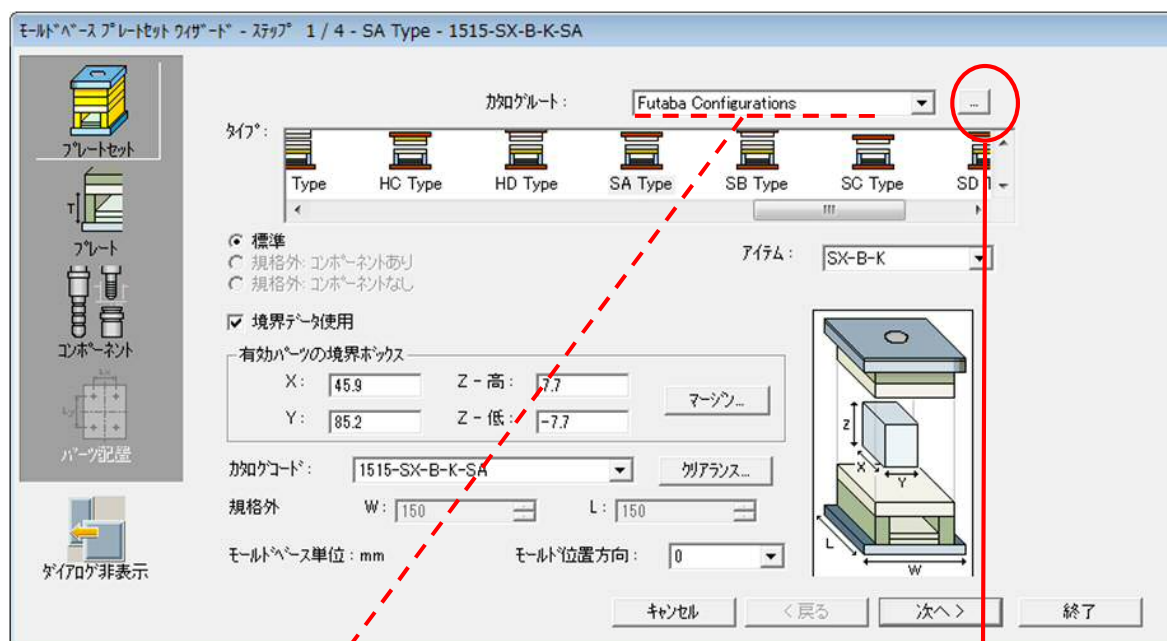


## 2. モールドベースの作成

FUTABA モールドベースを作成します。



モールドベースセットアップウィザードダイアログが表示されます。

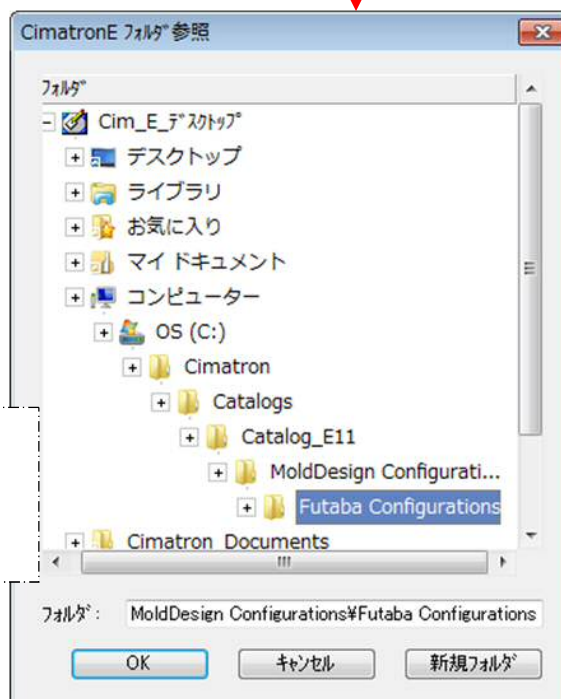


フォルダが表示されていない場合、  
タイプが表示されません。  
フォルダパスを参照してください。

＜通常以下のパスにインストールされます＞

C:\¥Cimatron¥Catalogs¥Catalog\_E11

¥MoldDesign Configurations¥Futaba Configurations



タイプ と、アイテムを設定します。

タイプ :	SAタイプ
アイテム :	SX-M

加知ゲルト: Futaba Configurations

タイプ: HA Type HB Type HC Type HD Type SA Type SB Type SC

標準  
規格外: コンポーネントあり  
規格外: コンポーネントなし

アイテム: SX-M

☒ 境界データ使用

有効パーツの境界ボックス

X: 45.9 Z-高: 7.7 マージン...

Y: 85.2 Z-低: -7.7

加知ケコード: 1113-SX-M クリアランス...

規格外 W: 110 L: 130

モールドベース単位: mm モールド位置方向: 0

プレートサイズを定義します。

加知ケコード :	2025-SX-M
モールド位置方向 :	270
<a href="#">次へ&gt;</a>	

加知ケコード: 2025-SX-M クリアランス...

規格外 W: 200 L: 250

モールドベース単位: mm モールド位置方向: 270

構成プレートパーツ、厚みを確認および設定します。

モールドベースプレートセットウィザード - ステップ 2 / 4 - SA Type - 2025-SX-M

プレート構成 ☒ エジェクタ プレートを含める

断熱板: なし

プレート	パーツ	厚み	W1	材質
P1	TSB plate	25.00		S50C
P2	AS plate	20.00		PLAST-
P3	BS plate	20.00		PLAST-
P4	US plate	30.00		S55C
R1	CS plate	50.00	38.00	S55C
R2	CS plate	50.00	38.00	S55C
E1	ES plate	15.00	120.00	S50C
E2	FS Plate	20.00	120.00	S50C
P5	LSB plate	25.00		S50C

初期値に戻す 全体厚み 170

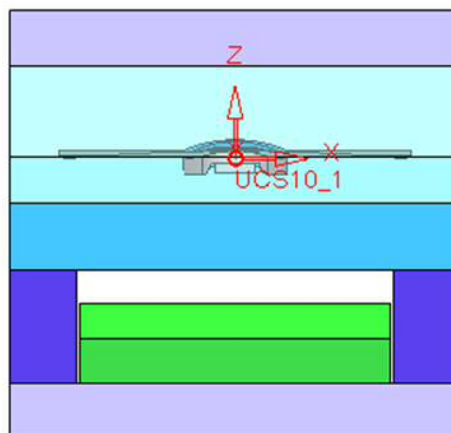
キャンセル < 戻る 次へ > 終了

AS プレート,BS プレートの厚みを変更します。

AS プレート	40.00
BS プレート	25.00

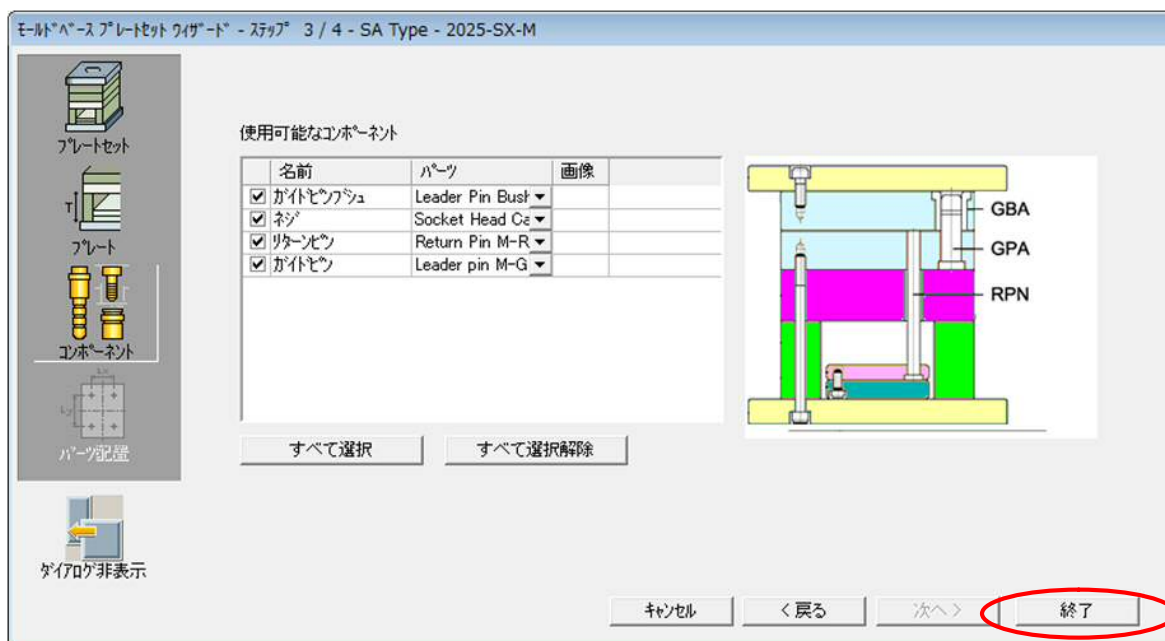
プレート	パーツ	厚み
P1	TSB plate	25.00
P2	AS plate	40.00
P3	BS plate	20.00
P4	US plate	25.00
R1	CS plate	30.00
R2	CS plate	35.00
E1	ES plate	40.00
E2	FS Plate	50.00
P5	LSB plate	60.00
		70.00
		80.00
		90.00
		100.00

<プレビュー>

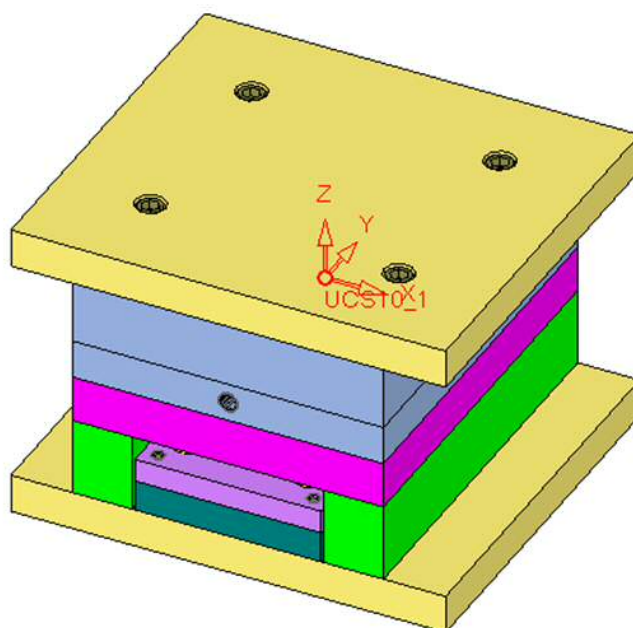
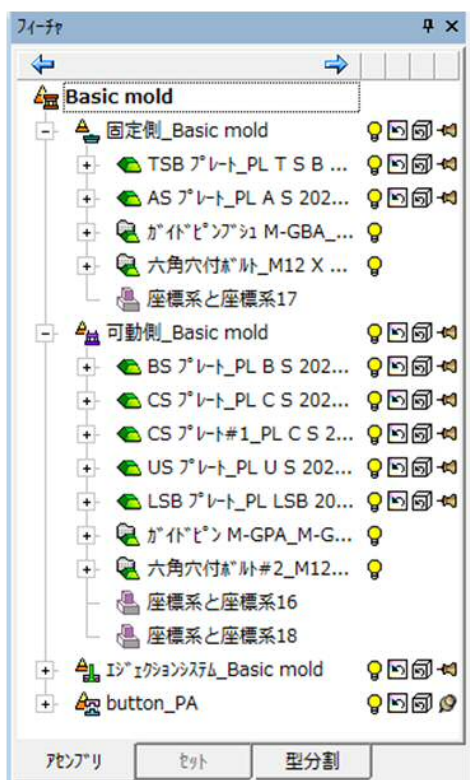


次へ>





各プレートがアセンブリの中に読込まれます。

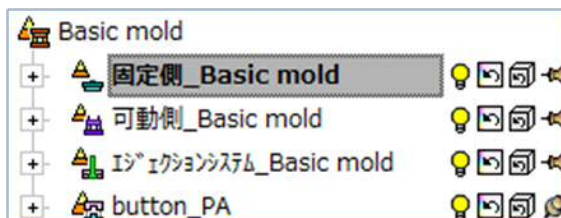


### 3. キャビティ、コア入れ子の作成

固定側、可動側に入れ子を作成します。

まず固定側を有効化し、新規コンポーネントを作成します。

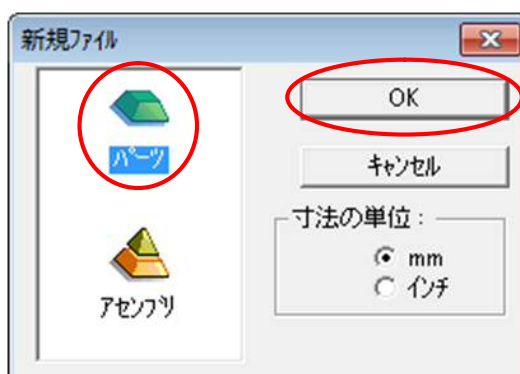
固定側アセンブリ (ダブルクリック)



新規コンポーネント追加

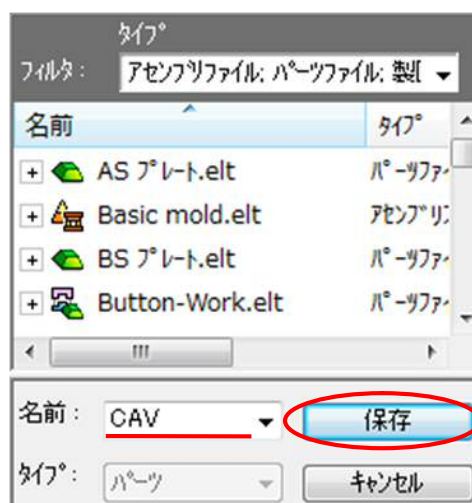
パーツ

OK



名前 CAV

保存



アセンブリ座標系上



OK

新規パーツの CAV が追加されていることを確認してください。

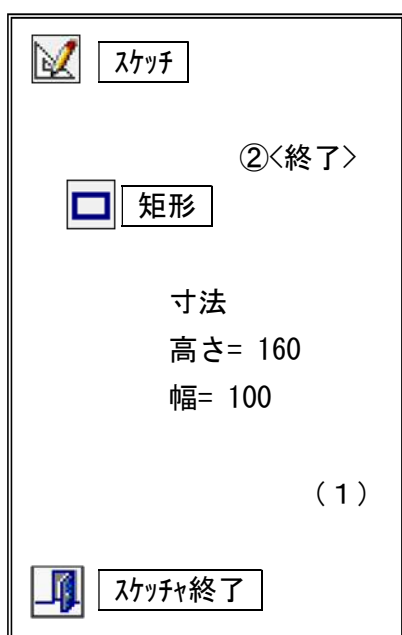
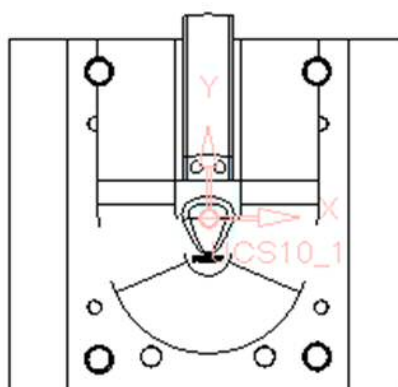




固定側を非表示にし、押出し形状を作成します

＜アセンブリツリー＞

固定側\_Basic mold を  
非表示

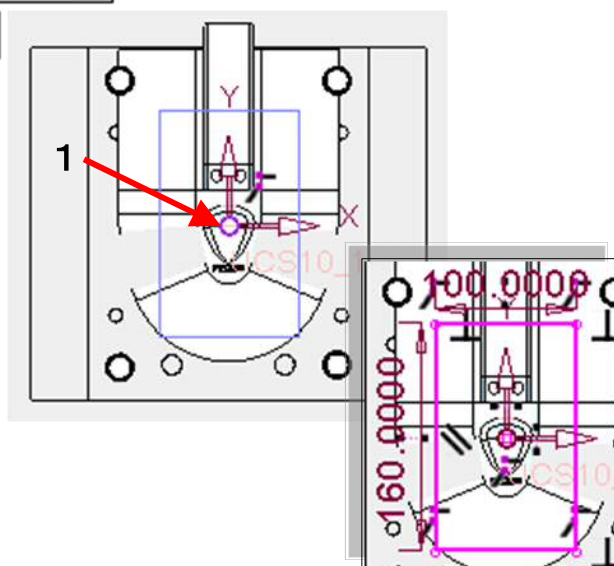



寸法

高さ = 160.000

幅 = 100.000

拘束





新規押出し

増分/参照

両側

プライマリ側


増分による

増分=30.000

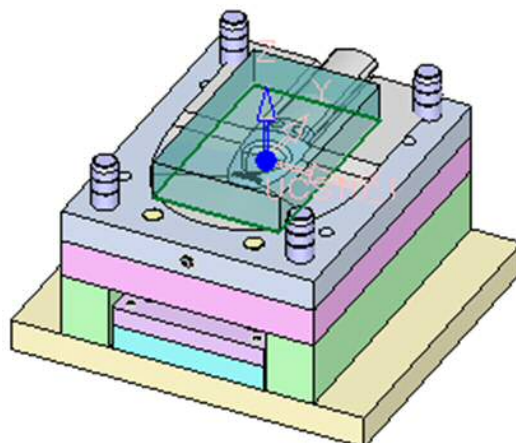
セカンダリ側

増分による


増分=25.000



OK



4 角にフィレットを付けます。




フィレット

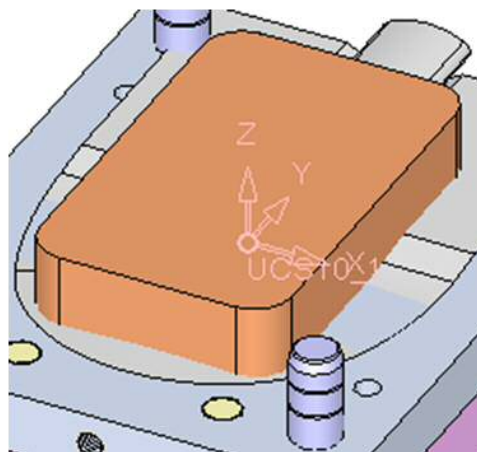
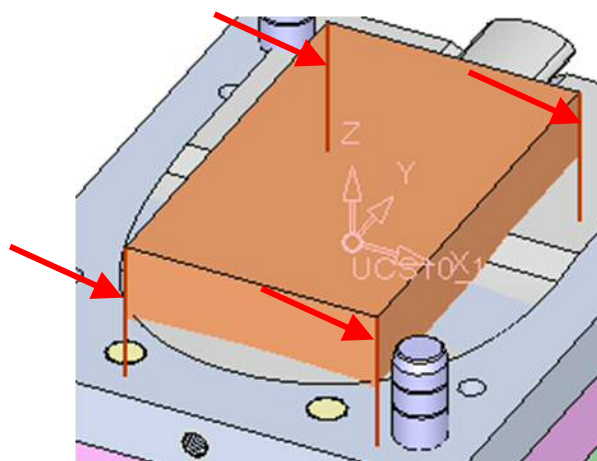
4 角を選択（右図）

②<終了>

全体半径 = 15.000



OK



可動側も同じ形状を使うので複製しておきます。

可動側アセンブリ（ダブルクリック）



<アセンブリリツリー>

CAV 上で

③ホップアップ



このコンポーネントの追加

元保持

アセンブリ座標系上

異なるコンポーネント



OK



コンポーネント名 CAV#1 を COR に変更します。

<アセンブリリツリー>

CAV#1 上で

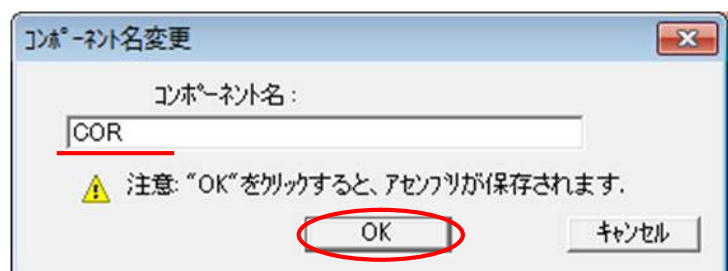
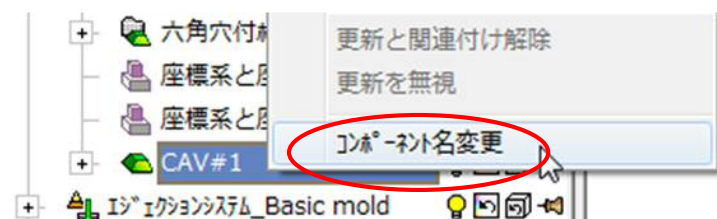
③ホップアップ



コンポーネント名変更

コンポーネント名 : COR

OK

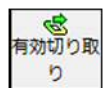


COR および 型分割アセンブリ button\_PA のみ表示して COR 入れ子を完成させます。

右図のように  
COR、button\_PA のみ表示

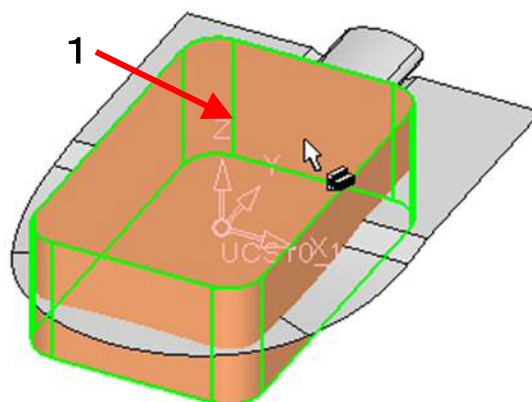


COR を切り取ります。



有効切り取り

(1)



向きを変えて作業パーツの反対側を選択します。

分割方向指示による面指定  
> Q-スプリットとパーティング面

反対側 (2)  
②<終了>

切り取り

(プレビューで確認)



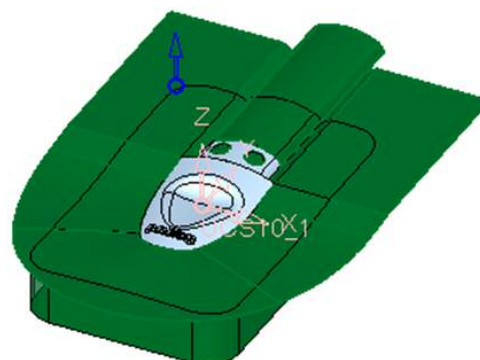
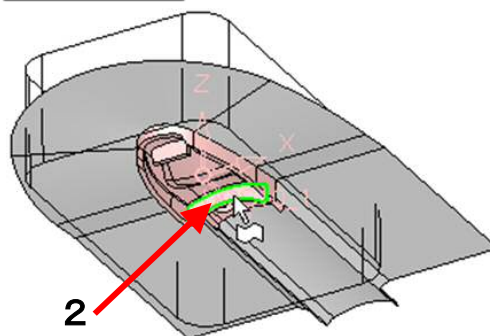
OK

分割方向指示による面指定

Q-スプリットとパーティング面

開いた稜線解析開始

最大間隔 = 0.1



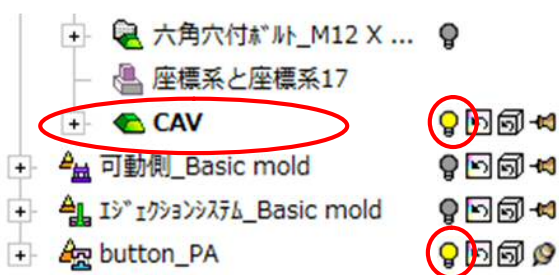
固定側も同じ操作で CAV 入れ子を完成させます。

<アセンブリツリー>

CAV (ダブルクリック)

右図のように

CAV、button\_PA のみ表示

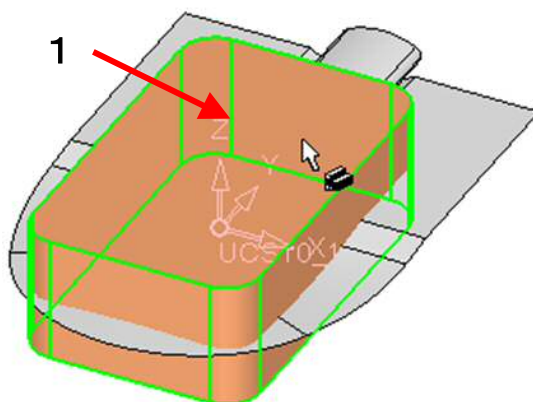


CAV を切り取ります。



有効切り取り

(1)



キャビティ側を選択します。

分割方向指示による面指定  
> Q-スプリットとパーティング面

キャビティ側 (2)

②<終了>

切り取り

(プレビューで確認)



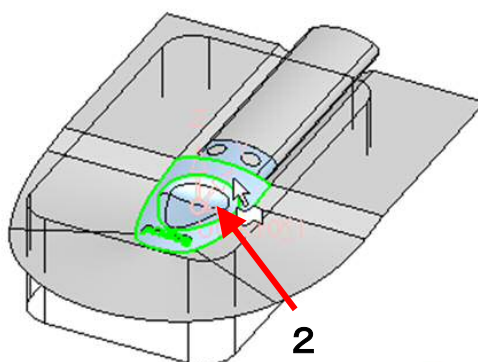
OK

分割方向指示による面指定

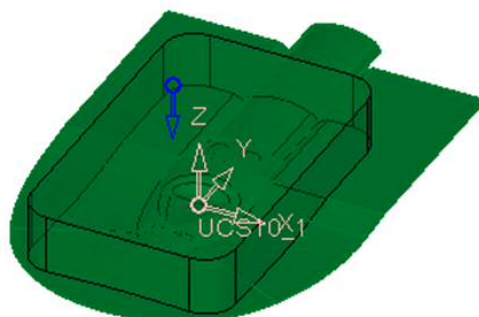
Q-スプリットとパーティング面

開いた稜線解析開始

最大間隔 = 0.1




2



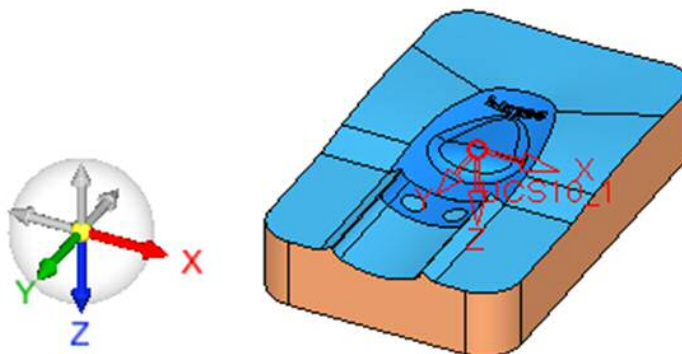


メインアセンブリを有効にして、CAV、CORを確認してください。

Basic mold (ダブルクリック)

 Basic mold

 CAV    



 COR    

